

二酸化炭素(CO2)排出量計算表(その1)

別添

社名：
()

担当者名：

電話番号：

登録番号	
導入車両車名	
導入車両型式	

(FCV(燃料電池自動車))

*社名の()はリース貸渡し先を記載

	導入車両のH29年度 の使用状況	導入車両のH30年度 の使用状況	備考
使用開始日			新規登録日付もしくはそれ以降に運送事業での利用を開始した日(いずれか遅い方)の日付を記入してください。
導入車両の各年度の走行距離(km)①	km	km	29年度は補助対象車両の登録日から平成30年3月31日までの走行キロ(その2)を記入してください。 30年度は平成30年4月1日から平成31年3月31日までの走行キロ(その2)を記入してください。
導入車両の各年度の水素使用量②	Nm3	Nm3	
標準車両の燃費③	km/ リットル	km/ リットル	導入車両の型式に相当する標準車両の燃費を「事前登録された補助対象車両等の情報」より選び、別表(JATA示す換算値)より選んで、その右欄の値(JATA換算値)を記入してください。
標準車両の排出係数④	kg- CO2/ リットル	kg- CO2/ リットル	排出係数とは、燃料1リットルから何kgのCO2が排出されるかを示す係数です。 標準車両の使用する燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
導入車両のCO2排出量⑤	0.00 kg-CO2/ Nm3	0.00 kg-CO2/ Nm3	水素の供給者から提供される値がある場合は、それを記入してください。 データが無い場合は本欄は0としてください。
標準車両の年間CO2排出量⑥	#DIV/0! tCO2	#DIV/0! tCO2	①÷③×④÷1,000
導入車両の年間CO2排出量⑦	#DIV/0! tCO2	#DIV/0! tCO2	⑤の値がある場合は、②×⑤÷1,000 ⑤が0である場合は、財団法人日本自動車研究所「総合効率とGHG排出の分析」(平成23年3月)におけるWtWにおけるCO2排出量のディーゼル車に対する単位距離あたりCO2排出削減率(最大と最小の場合の平均として20%)を⑥に適用して推定します。
CO2削減量	#DIV/0! tCO2	#DIV/0! tCO2	標準車両の年間CO2排出量⑥から導入車両の年間CO2排出量⑦を引くことで、年間(年度途中で導入の場合は、そこから年度末までの間)のCO2削減量を計算することができます。

注1. 上記様式は、当該年度末及びその後の1年間について必ず作成し、そのコピーを交付規程様式第15事業報告書と共に提出してください。

注2. 燃費改善効果及び二酸化炭素削減効果を把握することが、当該補助金の目的であり、事業報告書を提出しない場合は、補助金の返還もあり得ます。

注3. 補助対象車両が複数の場合は、本表を台数分提出してください。